

まえがき

この度、東京学芸大学先端教育人材育成推進機構・国際教育グループでは、『在外教育施設における指導実践記録 第46集』を刊行しました。『在外教育施設における指導実践記録集』は、本学に海外子女教育センターが設置された時に創刊され、のちに国際教育センターとして名称変更した際も継続して刊行してきました。

そして、今年度は、学内の組織再編により、先端教育人材育成推進機構・国際教育グループとして再出発した中で、『在外教育施設における指導実践記録 第46集』を刊行することができました。刊行に当たっては、在外教育施設での任期を終えて帰国後間もない先生方に全面的なご協力を頂きました。また、原稿を募集するにあたり、財団法人海外子女教育振興財団に多大なご協力を頂きました。ご協力頂きました皆様に改めてお礼申し上げます。

在外教育施設では、子どもの実態の多様化や保護者の教育要求への対応、児童生徒を確保するための魅力ある学校づくり、危機管理対策など、極めて多岐にわたる課題を抱えています。2019年末に発症し世界中に広まった新型コロナウイルス感染症は、収束が見える中にありますが、児童生徒の減少や対面での授業や行事が実施できなかったこと等、コロナ禍が各学校やその教育に与えた様々な影響を乗り越えていく必要があります。

『在外教育施設における指導実践記録 第46集』は、社会の厳しい状況にもかかわらず、現地の実情に応じながら、各在外教育施設で先生方が創意工夫のもと行われた実践をまとめたものです。

この貴重な『在外教育施設における指導実践記録集』が、今後、派遣を希望される方々をはじめ、海外子女教育に関心を持たれる方々に、活用していただけることを願います。

2024年2月

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構
国際教育グループ長
見世千賀子